

読んでみませんか? ~新刊案内~

『アレハンドロの大旅行』

きたむら えり/作 福音館書店



アレハンドロは、一度も話したことがありません。心配した両親は、いろいろな人に相談した結果、彼を一人旅に出すことにしましたが…。

『夢をまことに』

山本 兼一/著 文藝春秋



「鳥のように飛ぶ方法はないか」「月まで届く大砲は作れないか」江戸時代後期、ユニークなものづくりに生涯を捧げた鉄砲鍛冶・一貫齋の物語。

おはなし会

5月9日(土)、23日(土)

羽曳が丘図書館 15:00

5月13日(水) 東部図書館 10:30

5月16日(土) 古市図書館 15:00

5月16日(土) 陵南の森図書館 15:00

5月17日(日) 陵南の森図書館 11:00 (小さい子向き)
 11:30 (少し長いお話を聞ける子向き)

5月23日(土) 丹比図書館 10:30

5月3日(日)、10日(日)

陵南の森図書館 14:00

5月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)

中央図書館 13:30

ストーリーテリング入門講座

日時 5月18日(月)、25日(月)、6月8日(月)、22日(月)10:00~12:00

場所 LICはびきの 中会議室B

講師 「おはなしの森」の皆さん

定員 20人(先着順)

申込 中央図書館にて受付中(電話可)

ちびっこサロン

5月13日(水) 10:30~ 森のゆうびんきよく(市役所)

内容 おはなし・手遊び・おりがみなど



蔵書点検にともなう休館

図書館では、蔵書点検および資料整理などのため、次のとおり休館させていただきます。

陵南の森図書館、羽曳が丘図書館の休館

5月18日(月)~5月22日(金)、5月30日(土)~31日(日)

中央図書館、東部図書館、丹比図書館の休館

5月25日(月)~5月31日(日)

古市図書館の休館

5月30日(土)~31日(日)

サラダボール

戦後70年『ウランはどこで』

40歳を過ぎた自身の脳は、戦争に関する教育を受けた記憶は薄れている。ただ、小学校の図書室で「はだしのゲン」を読んだことはわづかながらに残っている。戦争やアメリカが憎いと子どもながら心に刻んでいた。あれから30年経ち、核兵器で使用されたウランはいったいどこで採掘されたのかが気になった。

経済専門誌の記者で都内に住む友人が、かつて米国ニューメキシコ州のウラン鉱山と隣り合わせて生活する先住民ナバホ族(約25万人)を訪れ取材していたことを思い出し、さっそく彼に連絡をとった。

第2次世界大戦中の1943年、ロスアラモス国立研究所は、マンハッタン計画の中で原子爆弾の開発を目的として同州北部に創設された。その2年後の7月、同州アルバカーキの南にあるアラゴモード砂漠で、同研究所が行った原爆の実験が人類初の成功となった。このとき使われたウランはナバホ族保留地で採掘された。日本に投下された2つの核爆弾にも、この地のウランが一部使われたという。

要点を話し終えた彼は、続けて現地の人たちの、複雑な人間模様を語ってくれた。ウラン鉱山会社の進出により、猟や農業を営む土地を手放したナバホ族の男性は『ウランを掘り起こしたこと。』はとても危険な行為だったと訴え、住民の健康調査などを求め、デモ行進に参加する。一方で、約30年前、ウ

ランが町に潤いをもたらしたと話す地元代表者の男性は『ウランは市民に職を提供し、経済を活性化する。』と再採掘の必要性を力説する。



除染作業が進むウラン鉱山のそばを歩くナバホ族の家族=ニューメキシコ州で

原子力の利用で対立する意見は国を選ばない。できるなら、報道を介さず、ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ、チェルノブイリそしてアルバカーキを運び、現地を調べ、自身の真つ当な意見を持ってみたい。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうざい
 羽曳野市人権啓発推進協議会